

## NEWS RELEASE

# デジタルガレージ、米国子会社の New Context Services が DevOps プラットフォームを手がける Copado Holdings により M&A ～Copado はシリーズ C ラウンドで 1.4 億ドルを調達し、評価額 10 億ドルを超えるユニコーン企業へ～

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）の米国子会社である New Context Services, Inc.（本社：アメリカ・サンフランシスコ、以下：New Context Services）が DevOps プラットフォームを提供する Copado Holdings, Inc.（本社：アメリカ・シカゴ、CEO：Ted Elliot、以下：Copado）による M&A を受けました。また DG は、DG の全額出資子会社で投資・育成事業を手がける、株式会社 DG ベンチャーズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役会長 兼 社長：林 郁）を通じ、Copado に出資を実行するとともに、今後同社のアジア市場進出をサポートする予定です。Copado は今回の資金調達により、シリーズ C ラウンドで 1.4 億ドルを調達し、評価額が 10 億ドルを超えるユニコーン企業となりました。



現在、多くの企業がデジタルビジネスの迅速な提供を目指し、デジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組んでいます。DX の実現に向け、開発部門と運用部門が連携し、システムの構築、運用を行う DevOps の重要性が認識され、企業での DevOps ソフトウェアの導入が進んでいます。さらに、グローバルでの DevOps ソフトウェア市場規模は 180 億ドルに達し、今後も大きな成長が見込まれています。

Copado は、企業の DX を支援する DevOps プラットフォームを提供しています。Copado は、データドリブンなアプローチを通じ、エンタープライズ向け SaaS や、ローコードプラットフォームの活用方法を再定義し、より速く、高品質なサービスの提供と、DX プロジェクトの信頼性向上に貢献してきました。Copado は今回の DG の米子会社である New Context Services の M&A により、プラットフォームにセキュリティと AI を活用した自動テスト機能を追加、今回の資金調達を通じエンタープライズ向け SaaS プラットフォームへの DevOps および AI 対応のテストソリューションを拡大する方針です。さらに、DG グループのネットワークを活用し、アジア（APAC）を中心としたグローバル規模での成長、市場進出を目指します。

「デジタル経済が主流になるにつれ、DevOps は今やすべてのビジネスにとって戦略的なものとなっています。世界中のほぼすべての企業が、開発ライフサイクルを加速させ、チームがソフトウェアを迅速に提供できるようにすることを求めています。私が Copado に入社して以来、プロダクトリリース日を廃止し、企業が多くの機能をより速く、安全に、高品質で提供できる環境作りに注力してきました。Copado は、今後も次世代のクロスクラウド DX を推進します。」（Copado CEO の Ted Elliot）

【Copado について】 <http://www.copado.com>

Copado は、世界最大規模の DX をクラウド上で実現する、最先端の DevOps プラットフォームを提供しています。Copado のプラットフォームは、クラウド展開の加速、リリースプロセスの簡易化、開発者の生産性向上、セキュリティとコンプライアンスの自動化、クラウドへの投資収益の最大化を実現します。さらに、バリュープランニング、継続的デリバリー、自動テスト、セキュリティ、コンプライアンスを含む、パフォーマンス分析プラットフォーム、Copado DevOps 360™を提供しています。1,000 社以上の企業が Copado を利用し、毎月 5,000 万件以上の DevOps トランザクションを処理しています。Salesforce AppExchange では 100% のスコアを獲得しています。